

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 6月号

2015年5月28日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：平川 裕太（中部徳洲会病院）

## 平成 27 年度介護保険報酬改定について

『講師：大城 則子氏(沖縄メディカル病院居宅介護支援事業所所長)』

ハートライフ病院 川満慎吾

5月の定例会にて「介護保険制度改正と介護報酬改定に概要」について沖縄メディカル病院居宅介護支援事業所所長の大城則子氏よりお話がありましたので報告いたします。

今後の介護保険を取り巻く状況として 2025 年には団塊の世代が後期高齢者となること、認知症高齢者の増加、高齢者の単独世帯や夫婦のみ世帯の増加が課題としてあげられていました。沖縄県の場合、他の都道府県と比べ 75 歳以上の人口のピークは 10 年遅れで迎えることが予想されており、各市町村の特性に応じた地域包括ケアシステムや対応策を構築していくことが必要となることを認識できました。10 年遅れが出る分、他の都道府県の対応策も参考にできるものではないかと思いました。介護保険料の話でいえば、沖縄県は所得が低いのに関わらず、日本一介護保険料が高いという事実があり個人的には気になりました。財源をどう確保していくのかという問題も今後さらに厳しいものになっていくのではないかと思います。

介護保険制度改正の部分では、要支援者の訪問看護や通所介護が市町村の総合事業へ移行される予定(H28年4月から広域連合と浦添市、H29年からは県内全ての市町村、H30年からは全国全ての市町村へ移行)であり、費用の面やサービスの充実度等が気になるところであります。介護報酬改定の部分ではデイケアや訪問リハ等のリハビリテーションマネジメントの充実に向けた加算や居宅介護支援事業所の特定集中減算等があげられていたが、介護の領域と密に連携をとっていく者として、無視できない話であることを感じました。今回の勉強会で初めて知ったことも多く、勉強不足な点も痛感したと同時に、制度や報酬の変化には敏感でなければならぬと強く感じました。

### CONTENTS

平成 27 年度介護保険報酬改定について	1
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会	
平成 27 年度 通常総会報告	2~3
めだかの学校報告	3
新会員紹介	4
理事会議事録	5~6
定例会、めだかの学校等のお知らせ	6~7
コラム・編集後記	8



※厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/> (平成 27 年度介護報酬改定について)



一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

平成 27 年度 定時社員総会

議事録

日時	平成 27 年 5 月 13 日 (水) 16 : 00 ~
場所	あやかりの杜 2 階多目的ホール
資格審査	直接参加 26 名、委任状 56 名 計 82 名 / 総会員数 129 名 ⇒総会成立
総会役員	議長：池間 俊 副議長：平川 裕太 書記：高江洲アヤ子 議事録署名人：玉城 静佳、嘉陽 嘉世
第 1 号議案	平成 26 年度事業計画 報告者：研修部 望月 祥子 広報部 新城 美香子 社会活動部 秦 克之 ⇒第 1 号議案 承認
第 2 号議案	平成 26 年度決算報告及び監査報告 報告者：事務局長 當銘 由香 ⇒第 2 号議案 承認
第 3 号議案	平成 27 年度事業計画案 報告者：総 括 樋口 美智子 研修部 望月 祥子 広報部 新城 美香子

	社会活動部 秦 克之
	⇒第 3 号議案 承認
第 4 号議案	平成 27 年度予算案 報告書：當銘 由香 ◇ 平成 27 年度予算案Ⅱ.支出の部 1.研修事業費に「助成事業経費」の費目がない>>>費目を追加する
質疑	⇒第 4 号議案 承認
第 5 号議案	平成 27 年度役員案 報告者：事務局長 當銘 由香 ◇下記委員会開催日の変更あり 正) 県ソーシャルワーカー協議会代表者役員会：毎月第 1 金曜日 正) ソーシャルアクション委員会：毎月第 1 金曜日 正) 理事運営委員会：毎月第 3 月曜日
	⇒第 5 号事案 承認

議事録作成者： 高江洲アヤ子

議事録署名人： 玉城 静佳

議事録署名人： 嘉陽 嘉世

## めだかの学校報告

那覇市立病院 前濱 杏美

5月12日ハートライフクリニックで行われました、めだかの学校に初めて参加させていただきました。

今回は、「紹介・情報提供の在り方」というテーマで、めだかの学校参加者それぞれが、どのように患者様を紹介しているのか、何を心がけているのか、紹介を受ける時どのような情報が欲しいか等を話され、その在り方について話し合いました。

それぞれ自身の紹介の仕方や、心がけている事項は異なりましたが、紹介する患者様の診療情報提供書はもちろんの事、患者様の基本情報(ADL等)、検査データなど、必要となる書類をあらかじめ準備し、必ず紹介先に一報入れて、受け入れの検討をしてもらうことが大切だとわかりました。また講義の中で、認知症や問題行動などがある患者様を紹介する際、その内容をどこまで伝えるべきなのかが議題にのぼり、回復期病棟での経験のあるMSWからは、認知症があるから受け入れない、問題行動があるから受け入れないというわけではない、そのように患者様を受け入れるにあたり何が必要となるか検討するためにも、患者様の状態をありのまま伝えて欲しいという意見を聞くことができました。

私は今年4月から、那覇市立病院に入職し、患者様を紹介する際何に気をつければいいのか、どのような情報が必要なのか、まだわかっていなかった部分が多かったため、今回の講義はとても勉強になりました。ここで学んだ事を業務に活かせるように心がけたいと思います。

## 新会員紹介

那覇市立病院 比嘉 優理

初めまして、今年の4月から那覇市立病院で相談員として入職しました比嘉優理と申します。社会人としても初めての職場なので戸惑うことも多いですが、相談室の先輩をはじめ、院内スタッフさんの温かいサポートもあって、忙しくも楽しい毎日を送っています。患者さんとの関わりの中で、支援が上手くいかないこともあって反省することが多いですが、患者さんの笑顔をみるたびこの仕事のやりがいを切々と感じています。今後も様々なケースに出会い、悩むことがあると思いますが、人としても社会福祉士としても、一步一步成長できるように励んでいきます。多施設の皆さまともよりよい連携を構築できるよう努めていきたいと思っています。至らぬ点が多いですが、何卒よろしくお願ひします。

那覇市立病院 奥山 弘子

皆様、初めまして。4月より那覇市立病院医療福祉相談室に勤務しています、奥山弘子と申します。

これまではデイサービスの相談員として主に高齢者の方々と携わってきました。

医療機関で働くのは今回が初めてで、担当も産婦人科・小児科病棟とこれまでと違う分野に戸惑いと緊張の中、先輩たちからご指導頂きながら日々奮闘しています。

患者様やご家族の気持ちを汲み取った支援を心掛けて、これから定例会や勉強会などに参加しながら自己研鑽に励んで参ります。

笑顔！！をモットーに頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



### 平成27年5月運営委員会議事録

開催日時：2015（平成27）年5月18日（月）18：45～

出席者：樋口、島袋、新垣、新城、當銘（司会）、望月、石郷岡、伊禮（書記）

### 研修部より：望月（ハートライフ病院）

■第2回いのちとこころとくらしをサポートする在宅医療研修会アンケート報告

■第3回のいのちとこころとくらしをサポートする在宅医療研修会

日時：6月20日（土）15：00～17：00

場所：沖縄県総合福祉センター

テーマ：利用者様が望む最後を叶えるために～小規模だからできる看取り～

1部：講演「小規模多機能ホームでの看取りにおける人材育成」

2部：ワークショップ「これから自分にできること・取り組めること」

■第4回のいのちとこころとくらしをサポートする在宅医療研修会

日時：7月11日（土）14：00～17：00

場所：名護学園 地域交流ホーム 和

テーマ：在宅ターミナルケアの支援の実際

～私らしい生活を選択（意志決定）する患者・家族を支援する方法を学ぶ～

（第1部）シンポジウム

シンポジスト：儀間真由美氏（北山病院 看護主任 緩和ケア認定看護師）（他  
3名）

（第2部）講演

講師：金城隆展氏（琉球大学医学部附属病院 地域医療部 臨床倫理士

（第3部）ケアカフェ

※こころのケア研究会共催

■めだかの放課後

日時：6月18日（木）19：00～21：00

場所：琉球大学

内容：研究とは！～基礎編～

講師：白井こころ（琉球大学大学院講師）

「研究とは～量的・質的研究の基礎編」（予定）

・MSW業務評価・ラダー

■めだかの学校

日時：6月9日（木）19：00～20：30

場所：ハートライフクリニック

内容：紹介・情報提供のあり方

■中部地区医師会医療連携推進会議

日時：6月2日（火）19：00

参加：望月（ハートライフ病院）、泰（中頭病院）、香村（若松病院）参加予定

広報より：新城（小禄病院）

・広報紙・・・6月号担当：平川さん（中部徳洲会病院）

## 社会活動部：

- ・ 医療機関等紹介集の更新可否検討  
→エクセルでフォームをつくり一覧にしてはどうか
- ・ MSW 協会リーフレット作成を作成する

## 事務局：當舖（大浜第一）

### ■ 平成 27 年度沖縄県地域包括・在宅介護支援センター協議会

地域包括ケアをすすめるネットワークづくりセミナー

テーマ：在宅医療・介護連携のあり方

日 時：平成 27 年 6 月 24 日（水）

※ 人選して MSW 協会からも参加していく

- ・ 新入会員（0 人）、移動（1 人）

### ■ その他

- ・ 勇美記念財団に申請予定
- ・ 平成 27 年度 MSW 理事会スケジュール→毎月第 3 月曜日（7 / 21、9 / 14、3 / 22）
- ・ ワーキンググループをサポートする担当理事を決める
- ・ 九州大会は県協会から 3～4 題提出

次回理事会：6 月 16 日（月）18：30～司会：樋口 書記：奥平 連絡係：伊禮

～平成 27 年 6 月研修部のお知らせ～

## 定例会

日時：平成 27 年 6 月 20 日（土） 15：00～17：00（受付 14：00）

場所：沖縄県総合福祉センター会議室 西棟 4 階（那覇市首里石嶺町 4 丁目 373-1）

内容：第 3 回 いのちとこころとくらしをサポートする在宅医療研修会

テーマ：『利用者様が望む最後を叶えるために～小規模だからできる看取り～』

第 1 部：15：00～15：30

講演：「小規模多機能ホームでの看取りにおける人材育成」

講師：特定非営利活動法人きづき 事務局長 佐久川伊弘

15:30~16:00

事例提供:

- ①小規模多機能型居宅介護事業所くくば原 横川由紀子ケアマネ
- ②小規模多機能ケアホームうえの家 福里ひろみケアマネ

第2部: 16:00~17:00

ワークショップ「これから自分にできること・取り組めること」

※事前申し込みが必要です。

### めだかの放課後

日時: 平成27年6月18日(木) 19:00~21:00

場所: 琉球大学法文学部棟 304号室(西原町字千原1番地)

※駐車場は学部棟の前にたくさんあります。

※学部棟がふたつあるため、場所の詳細は事前に大浜第一病院當銘までへ確認してください。

内容: 研究とは!?!~基礎編~

講師: 白井こころ先生(琉球大学大学院講師)

\*中堅者で、興味のある会員の方は誰でも参加が可能です。

\*30分の講義のあと、ディスカッション(実務と研究)を行います。

\*尚、時間厳守のため、途中参加はできません。

### めだかの学校

日時: 平成27年6月9日(火) 19:00~20:30

場所: ハートライフクリニック 2階会議室(西原町掛保久288)

内容: 経済的負担軽減のために活用できる医療制度



「先輩ソーシャルワーカーの背中を見て」

担当：M.N

私は今年4月に急性期病院から慢性期病院へ転職した。

MSW5年目を迎え、初心に戻ることが私の目標である。

担当の病棟は、転職する前から連携があり顔見知りであったS先輩の元で回復期病棟を担当することになった。

ある日、病棟看護師が「あのAさんの退院先はどうなっているの」「夜間の対応が大変。もうこれ以上病棟は面倒見られないですよ」とS先輩に訴える場面があった。他職種から困った患者さんの問題や、退院支援を急かされるのは、やっぱりどこでもあるんだな、と思うのと同時に、何でも吐け口になるMSWの立場に、少し理不尽さも感じた。

S先輩は看護師に、身寄りのないAさんの生活課題や調整の状況を伝え、持ち前の穏やかさで看護師をなだめてくれた。

後日、昼夜逆転で日中とろんとしているAさんを、景色の良い場所に連れ出し一緒におしゃべりをしたり、院内のデイケアを利用できないか他部署に相談したりと、動き回るS先輩の姿があった。

診療記録を見ると、眠れず不穏になるAさんを夜間の少ない体制で落ちつけようとする看護師、セラピストも本人の覚醒状態に合わせたリハビリを続けていた。

困った患者さんに手を焼いているだけじゃなく、それぞれの専門職がそれぞれの働きをしていることを、S先輩の背中を見て気付かされた。

ある時、S先輩が言った。「ソーシャルワーカーが『もう退院時期なので退院して下さい』『本人の言うことは聞けません』何て言ったら、困っている患者さんは相談に来なくなる。そんなことはMSWが言うべきじゃなくて、回復期はリハビリ専門なのだから、医師・看護師・セラピストの専門分野から意見を提示してもらうべきだと思うんだけどな」。

私もその通りだと思う。MSWは退院調整だけでなく、心理・社会的課題を解決する専門職だ。お人好しで寄り添っているのではなく、MSWの視点で寄り添っているし、患者・家族にとって相談しやすい存在でありたい。

他職種にとって「困った時は相談室」も、ある意味必要とされていると思えばありがたいが、専門性をもっと発揮して、他職種に必要とされたいと思う。S先輩の言葉は、私を初心に戻してくれた。

S先輩と働ける事がありがたいな、と思う今日この頃である。

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

★編集後記★

梅雨空のもといかがお過ごしでしょうか。ジメジメしていてなかなか天気も気持ちも晴れ晴れとはいきませんが、暑い夏に向けて体力をつけていきましょう！！

お忙しい中、原稿を引き受けて下さった皆様、本当にありがとうございました。